

科目名称：	デザイン論（美術学科）	
担当者名：	東田 修一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
さまざまなデザイン分野を中心に、創造活動が続ける個人や組織をピックアップして紹介し、デザイン活動のヒントや考え方の指針を探る。毎回のレポートを教員が確認し、質問等の項目でフィードバックすることにより、各自が理解しているかを確認していく。		
授業の達成目標・到達目標		
学生の制作活動の活性化及びデザイン全般の視野を広める。また、様々なデザインに対する考え方を各自が理解し、自身がデザイン的な考えについて述べるようになる。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)	100				100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》グラフィックデザイナー	《経験年数1》 8年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	あと一步	頑張ろう	
理解	様々なデザイン分野について理解し、説明できる。	様々なデザイン分野について理解したが、うまく説明するまでには至っていない。	様々なデザイン分野について、まだあまり理解できていない。	
思考力	デザインについて自分の考えがあり、それを説明できる。	デザインについての考えをなんとなく説明できるがまだ明確ではない。	デザインについてまだ自分の考えをまとめるまでには至っていない。	
意欲	授業を通して制作意欲が高まり、考え方などを作品に反映できる。	制作意欲は高まっているが、作品にどう生かしていけば良いかわからない。	自分の作品制作についてどうしていいのかわからず戸惑っている。	
多様性	デザインの多様な考えや表現から、共通するところと違いを見いだせる。	多様な考えや表現から共通する部分か、違いのどちらかを見いだせた。	多様なデザイン分野や考え方について共通部分や違いを見い打せない。	

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 アートディレクターを紹介し、その考え方や制作活動を見る。	グラフィックデザインについて調べておく。	30分
第2回 アイデアの出し方を広告から学ぶ。	広告について調べておく。	30分
第3回 フォトグラファーを紹介し、その考え方や制作活動を見る。	フォトグラファー、写真について調べておく。	30分
第4回 インテリアデザイナーの現場を紹介し、その制作活動と実態を見る。	インテリアデザイン、建築デザインについて調べておく。	30分
第5回 著作権や商標権の問題について考える。	著作権や商標権について調べておく。	30分
第6回 美術監督を紹介し、その現場や考え方を通してデザインとの共通性を考える。	美術監督という職業について調べておく。	30分
第7回 石川の伝統工芸のデザインについて考え、授業内でディスカッションし工芸のあり方について考える。	伝統工芸について調べておく。	30分
第8回 伝統工芸の展開例を紹介し、その可能性を伝える。	伝統工芸とデザインの関わりについて調べておく。	30分
第9回 商品開発とデザインの関係を考える。	商品デザインについて調べておく。	30分
第10回 日本美術とデザインの関係性について考える。	好きな日本美術の作家について調べておく。	30分
第11回 照明デザイナーを紹介し、その考え方や制作活動を見る。	照明デザインについて調べておく。	30分
第12回 ファッションデザイナーを紹介し、チャレンジ精神を学ぶ。	ファッションデザイナーについて調べておく。	30分
第13回 前衛華道家の紹介により、創作活動の意義を探る。	華道について調べておく。	30分
第14回 デザインの将来について考えたことをディスカッションする。	デザインの将来について考えをまとめておく。	30分
第15回 マンガ家の活動とデザイン論のまとめ。	マンガ家について調べておく。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、100%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

#### 課題に対するフィードバック

学習成果をルーブリックでフィードバックする。

#### 教科書・参考書

なし